

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学研究法		選択	2	2,3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
柁木 隆寿	B306	t.masaki	火曜日 12:30~14:30		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉心理学という学問において、実証的な研究実践がどのような重要性を持っているのかを理解する。様々な研究法について理解し、心理学研究の立案、実施、発表ができるようになる。</p> <p>〈概要〉心理学は「こころ」の働きを科学的に探究する学問である。本講義ではまず、心理学が「科学的」であるためにどのような研究法を開発し、それをどのように実践してきたのかを解説する。各研究法を理解したのちに、グループ毎に研究を立案・実施し、適切な知識と技術の定着を目指す。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	積極的なグループでの活動、講義中の質疑応答が求められる。また、他の心理学系講義で学んだ知識、技術が必要となるので復習しておくこと (備考欄を参照すること)。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	適宜紹介する。				
外部教材	無し				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学研究の目的・意義、各種研究法の基礎知識について理解し、説明できる。			HSU(2)、WP(5)	
②	心理学の研究計画を立てることができる。			HSU(2)、WP(5)	
③	実施した研究について、研究分野の慣例に従った適切な報告ができる。			HSU(2)、WP(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション：講義の進め方について理解する。各自が関心のあるテーマを紹介する。	講義	関心のある心理学的な研究テーマを考える。	2	
2	心理学研究における「科学性」と「実証性」について学ぶ。	講義	配布資料の対応部分をまとめる。	3	
3	相関関係と因果関係、観察と実験について学ぶ。	講義	配布資料の対応部分をまとめる。	3	
4	独立変数、従属変数、余剰変数について学ぶ。	講義	配布資料の対応部分をまとめる。	3	
5	面接法について学ぶ。	講義・演習	面接法の特徴を整理し、研究例を考える。	3	
6	調査法について学ぶ。	講義・演習	調査法の特徴を整理し、研究例を考える。	3	
7	観察法、実験法について学ぶ。	講義・演習	観察法、実験法の特徴を整理し、研究例を考える。	3	
8	研究計画の立案を行う (1)。	演習	関心のある研究テーマの過去研究を調べ、まとめる。	5	
9	研究計画の立案を行う (2)。	演習		5	
10	研究実施の準備を行う。	演習	研究実施に必要な情報、器具を準備する。	5	
11	立案した研究を実施する (1)	演習	集めたデータを整理・分析し、発表準備やレポート作成に必要な情報を集める。	5	
12	立案した研究を実施する (2)	演習		5	
13	研究発表の準備を行う。	演習	発表スライドの作成、発表練習を行う。研究発表の質疑応答で得られた知見をもとに、レポートを作成する。	6	
14	研究発表を行う。	演習		6	
15	心理学における質的研究、応用研究について学ぶ。これまでの学習の総括を行う。	講義	配付資料をもとに本講義で得た知識・技術を整理する。	3	
試					

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	30	0	30	
総合力指標	知識・技術力	0	10	10	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	10	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①		心理学の研究レポートを作成する。体裁、内容、表現力等により 10 段階で評価する。				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	心理学の研究レポートを作成する。体裁、内容、表現力等により 10 段階で評価する。				提出されたレポートは、添削後に返却する。再提出を求めることもある。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	研究成果のプレゼンテーション（口頭発表）を行う。その内容、技術、質疑応答の対応について評価する。				講義中及びオフィスアワーにて総評および個別のフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義中の発言や、グループワークにおける取組みの態度や意欲、そして課題の達成度を統合的に評価する。				講義中及びオフィスアワーにて総評および個別のフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	該当せず						
教員の実務経験	無し						
実践的授業の内容	該当せず						
そ の 他	<p>履修する学生は第 1 回目のオリエンテーションに必ず出席し、内容を確認すること。公欠等、やむを得ない理由で出席できない場合は、第 1 回目授業が始まる前までに、担当教員に必ず連絡すること。</p> <p>「心理学基礎実験」、「心理データ解析」、「心理データ解析Ⅱ」を履修中、あるいは単位取得済みであることが望ましい。そうでない場合は教員に事前に相談のこと。統計的知識、データ処理の方法、基本的な実験の技術など、不足分の知識を補いながら受講すること。</p> <p>Microsoft Teams を用いて諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。</p> <p>また、全 15 回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p>						